

## UNHCR の新規プロジェクトへの支援

2019年2月、日本政府は、平成30年度補正予算により、UNHCRのヨルダンでのプロジェクト「ヨルダン全土におけるシリア難民の保護及び支援」に対し、新規に約357万ドルの支援を決定しました。今回の新規プロジェクトにより、シリア難民に対する医療サービス(二次医療)の提供、シリア難民キャンプに居住する難民に対するコミュニティー・センタでの活動及び職業訓練支援、ヨルダン政府職員による国際人権法や国際難民法に関するトレーニングが実施される予定です。

4月2日、新規プロジェクトの立ち上げにあたり、柳大使は、セヴェーレUNHCRヨルダン事務所代表と懇談を行いました。セヴェーレUNHCR代表は、「日本はシリア危機開始直後からのヨルダンの重要な支援国の一つ。今回の支援により、UNHCRはキャンプ内のコミュニティー・センターにおける活動を継続し、身体的、精神的に多くの困難を抱えている多くのキャンプ内のシリア難民に対して、社会サービスやスキルトレーニングを提供することが可能となる。日本からの支援に大変感謝している。」と述べ、日本の支援に対する謝意を表明しました。

柳大使からは、「シリア難民の保護、医療サービスの提供、キャンプ内での活動支援の観点で、UNHCRの役割は大きく、高く評価している。また、引き続きUNHCRと日本の開発支援の実施機関であるJICAとの協力を期待している。」と述べました。

